

ミュージアムニュース



広島県立歴史博物館
Hiroshima Prefectural Museum of History
草戸千軒ミュージアム

第146号



Hiroshima Prefectural Museum of History

くさどっきー せんちゃん

ミニ展示

須恵器で語る加茂谷の古墳時代

会期 令和8年 1月2日(金)～2月23日(月・祝)



加茂谷(福山市加茂町)の須恵器

令和8年1月2日からスタートするミニ展示では、令和6年(2024)に当館へ新たに寄贈された加茂谷(福山市加茂町)の須恵器を初公開します。

今回焦点を当てる須恵器は、窯で高温に焼成した硬質の焼き物(土器)で、古くからの研究によって、その形や技法には時代による変遷があることが明らかにされています。これらを「年代のものさし」として、古墳に供えられた須恵器から古墳時代の加茂谷を紹介します。

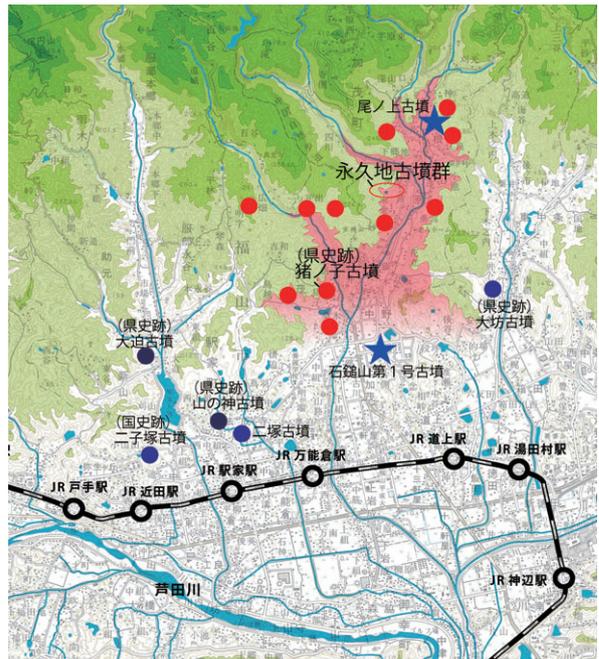
展示の紹介は次のページへ ▶▶

神辺平野周辺の古墳の特質と加茂谷

広島県南東部を流れる芦田川の中流域に広がる神辺平野(福山市)では、古墳時代後期から飛鳥時代(6~7世紀頃)にかけて、大型の横穴式石室や、地方としては珍しい畿内地方の影響がうかがえる横口式石槨を備えた古墳が集中的に築かれ、全国的に注目されてきました(右図)。

この神辺平野に面する谷筋の一つである加茂谷(右図赤色部分)には、古墳時代前期に築かれた尾ノ上古墳や石鎚山第1号古墳、飛鳥時代(7世紀後半)に築かれた猪ノ子古墳(県史跡)のほか、小規模な古墳が分布していますが、ほとんどの古墳はいつ頃築かれたのか具体的な情報が得られていませんでした。

今回の寄贈資料である須恵器(216点)は、加茂谷に営まれた古墳の年代的な位置付けを考える際に重要な役割を果たす資料の一つです。



神辺平野の主な古墳と加茂谷周辺の古墳(赤丸)



加茂谷の永久地古墳群(福山市加茂町)の横穴式石室(上)と須恵器・壺(下)

須恵器で語る加茂谷の古墳

古墳時代後期以降に普及した横穴式石室では、石室の内部や入口付近に須恵器を並べる葬送儀礼が広く行われました。

新寄贈の須恵器には、「永久地」や「粟根」など、現在の加茂谷に残る地名を記した紙が貼られており(写真下)、かつて加茂谷の古墳に供えられていた須恵器であると考えられます。

今回の展示では、加茂谷の須恵器を古いものから新しいものへ年代順に並べ「年代のものさし」として紹介します。須恵器を調べることによって、加茂谷に築かれた古墳の具体的な年代を推測することができるほか、副葬品としての須恵器のもつ意味や、大量の須恵器が副葬されるようになった背景などについても、分かりやすく紹介します。

ぜひこの機会に須恵器を通して、加茂谷の古墳時代に思いを巡らせていただければ幸いです。



写真：加茂谷(手前)から神辺平野(写真奥)を望む

頼山陽史跡資料館 資料の紹介

— 頼春水遺愛の硯「鳳足石硯」—

頼山陽史跡資料館は12月1日(月)から1月31日(土)の間、改修工事のため、休館しています。今回は展示会で出展した資料を御紹介します。



今回紹介する資料は、特集展「江戸文化と文房具」(令和7年9月6日～10月19日)で展示した「鳳足石硯」です(写真①)。この硯は、頼山陽の父である頼春水の硯として、竹原の春風館に伝わっています。硯蓋や硯の裏面(写真②、③)を見ると、春水は享和元年(1801)頃に阿州(現在の徳島県)の「仁尾大夫」という人物からこの硯を贈られたことが分かります。

「鳳足」という名前は、硯に使われている石である「鳳足赤石」に由来します。「鳳足赤石」は『和漢硯譜』という書物によると、若狭国遠敷郡宮川谷(現・福井県小浜市)で採れる石のことで、「今難得(=今、手に入れるのは難しい)」とされるなど、大変貴重な石であることが示されています。また「鳳足赤石」は、赤みがかかった色と石の模様が鳥の足に見えるのが特徴であり、硯を見ても、全体的に赤みがかっており、裏面(写真③)には鳥の足のような紋様を見ることができます。

なお、右下の写真④は、「鳳足石硯」を収めていた春風館の収納箱です。箱を見ると、全体に細かい装飾が施されており、収めていた硯が大切に扱われていたことが分かります。貴重な硯だから…という面もあるかもしれませんが、春水は頼家が学者の家として知られるきっかけとなった人物でもあり、その彼の硯でもあったからこそ、このような立派な箱に収められることになったのかもしれません。

頼山陽史跡資料館 (広島市中区袋町5-15) TEL:082-298-5051

■ 休館日 / 12月1日(月)～1月31日(土)(改修工事のため)

※ 詳しくはホームページを御覧ください。



▲ 頼山陽史跡資料館
ホームページ

R
A
I
S
A
N
Y
O
U

博物館 掲示板

講演会（考古学講座）

※時間はいずれも午後2時～午後3時30分

回数	演題	講師	開催日
第1回	世界遺産アンコール遺跡の考古学と文化遺産国際協力	上智大学総合グローバル学部 教授 東南アジア考古学会 会長 丸井 雅子 氏	1月31日（土）
第2回	原爆ドームの地下構造調査と平和記念公園内遺跡の発掘調査	公益財団法人広島市文化財団文化科学部 文化財課 課長補佐 楳木 敬太 氏	2月14日（土）
第3回	宮島での考古学的調査について	廿日市市宮島歴史民俗資料館 専門員 順田 洋一 氏	2月28日（土）



近世文化展示室

会期▶	12/26（金） ～2/23（月・祝）	2/28（土） ～4/26（日）
菅茶山の世界	長寿を寿ぐ	菅茶山と対外関係資料
守屋壽 コレクション	蝦夷地調査と地図	ペリー来航と幕末

ミニ展示

会期▶	1/2（金） ～2/23（月・祝）	2/28（土） ～4/26（日）
通史展示室 （ミニ展示コーナー）	須恵器で語る 加茂谷の古墳時代	中世文書を読む⑬ 杉原盛重の文書②

広島県立歴史博物館 ミュージアムニュース 第146号

編集・発行

令和7年12月1日



〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
X(エックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ホームページ



▲X(エックス)